

町の総合防災訓練 9/30 は各家庭で、 “マイ・タイムライン” 作成と行動確認を！

9月30日（土）に「大磯町総合防災訓練」が行われます。具体的には、台風と大雨を想定した「風水害の避難行動」です。家を飛び出して避難行動を行うものではありません。

具体的な訓練内容は、『マイ・タイムライン（台風・大雨）保存版』に、あらかじめ自分たちの命を守る行動を、気象予報や避難情報の時間的推移を念頭に行動シナリオを書いておき、それを当日「イメージ訓練」として各家庭でやってみるといものです。

※『保存版』は、広報誌“おおいそ”9月号と一緒に配布された緑色チラシ『2023大磯町総合防災訓練』の裏面にあります。（無くした方は、役場、国府支所へ…。）

タイム・ラインの作成方法は、4月に配られた「津波・高潮ハザードマップ保存版」の26ページ「マイ・タイムライン（台風・大雨）」（裏面右側に掲載）を参考にして前記のような行動のシナリオを作成しておくということがポイントです。 このように当日は各家庭でマイ・タイムラインに基づいた避難行動を確認し合う⇒これが今年の全町防災訓練になります。

防災行政無線が鳴ったら各家庭で取り組んでみましょう。

黄旗の掲出や報告は「無し」で行なわれます。



要支援者個別避難計画作成ワークショップ…も

なお、石神台自治会では30日の同時時間帯に、防災部、自主防災委員会、民生委員が一体となって「要支援者個別避難計画作成ワークショップ」と通信訓練を別に行います。

これまでの防災訓練では黄旗掲出訓練時に要支援者の「安否確認」はやっていましたが、救出や避難経路の確認など計画作成ワークショップは初めての試みです。

<自主防災キャンペーン行動>（再開）

日時：10月21日（土）午前10時～12時

場所：東公園

内容：火災による被害拡大を防止するための初期消火訓練。
（消防署と消防団に計画調整中）

- ① スタンドパイプ使用訓練
- ② 消化器使用訓練
- ③ 発電機（ジェネレータ）のメンテナンス・始動訓練

ニューススポット

9月5日横浜市にある神奈川県立歴史資料館で「関東大震災—原点は100年前—」と横浜開港資料館の「関東大震災を100年—大災害を生き抜いて—」の2つの特別展を見てきました。

1923年9/1の大地震は、本震から3分後、さらのその3分後と2回も大きな余震が発生したこと。国府津・大磯付近から三浦半島～房総半島館山にかけての相模海溝（トラフ）一帯で地盤が最大1.9m隆起し、丹沢～高尾山にかけての一帯では最大1.6m沈下した…などビックリ。横浜開港資料館は12/3までやっています。

※ 裏面に「マイ・タイムライン」サンプル

